

トニー・ボウ選手が2日間完全優勝 大成ロテック、オートバイレースに冠協賛

大成ロテックが3年連続で冠協賛したオートバイレースの「2025 Hertz FIMトライアル世界選手権第3戦 大成ロテック日本グランプリ」が5月17、18の2日間、栃木県茂木町のモビリティリゾートもてぎで開かれた。

最高峰の「Trial GP」クラスでは、世界選手権18連覇中のトニー・ボウ選手が2日間完全優勝を果たした。「Trial 2」クラスでは、



電動トライアルバイクを使用するミケール・ジェラベルト選手が初日の優勝を飾った。表彰式では、西田義

則代表取締役会長が入賞選手にトロフィーを手渡し健闘をたたえた—写真（大成ロテック提供）。

トライアルレースは障害物が設置された採点区間をミスなく走破できるかを競うモータースポーツで、同大会はアジア圏で開催される唯一のグランプリ。「カーボンニュートラル（CN）イベント」の実現を目標に、グリーン電力やCN燃料を積極活用している。